

2017年8月8日

ジャカルタ ジャパン クラブ
会員各位

ジャカルタ ジャパン クラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

駐インドネシア日本大使館 赤松統括公使挨拶

夏休みのシーズンになり移動が増える時期になる。国内旅行や日本へ帰国する際は、安全面には十分に気をつけていただきたい。

大使館では領事部がジャカルタ・ジャパン・クラブ（JJC）の労働問題委員会からの情報を得て、到着ビザ（VOA）に関する注意喚起メールを発出した。更なる被害の発生や二次被害を防ぐため、何か情報があれば領事部へ情報提供いただきたい。また、9月上旬には、日尼領事当局間の非公式協議を予定しているため、必要な要請や問題提起をしていく予定。

1 最近の政治・治安情勢

治安は、7月に入り落ち着いたところもあるが、先日バンドンで爆弾製造の容疑で逮捕者が出ている。同事件のテロの対象は、レストラン及び教会と、警察ではなく一般人に変化しているが、依然として第一のターゲットは警察である。警察は8月17日の独立記念日に向け、警戒を強化している。

また最近、インドネシア国家警察は警察官への拳銃の配布を開始している。計20,000丁の配布になる見込みで、現在までに5,000丁配備したとのこと。しかし、インドネシアでは拳銃の使用に関する統一されたガイドラインが無いため、現段階でどのように使われるのかはわからない。銃撃戦が発生する可能性も否定できないので、十分注意願いたい。

2 邦人に関わる最近の事件・事故報告

最近邦人が巻き込まれる一般犯罪は増加傾向にある。

(1) 置き引き被害

7月初旬、日本食居酒屋にて食事をしていたところ、足下に置いておいた鞆を窃取される事件が発生。すぐにクレジットカードを停止したが、既に20万円程度使われていた。手口は犯人が足下の鞆を足で少しずつ自分のほうへ寄せて窃取するというもの。2～3名のインドネシア人を含む複数名による犯行とのこと。同様の被害の発生が大型モール内でのレストランでも報告されている。目の届く位置に鞆を置くようにしていただきたい。

(2) 車上狙い

7月末、ジャカルタ南部及びボゴールで車上狙いが発生。また高速道路のサービスエリアにて、トイレ休憩中に車の鍵をかけずに外でタバコを吸っていたところ、車内の貴重品が窃取される事件が発生した。またストウールでも後部座席のガラスを割られる被害が起き

ている。車を離れる際には鞆や貴重品は持って出ること、また運転手に対し、降車時には施錠するよう徹底していただきたい。

(3) スリ

7月末、モナスのトランスジャカルタのバス停で、パスポート及び現金を窃取される事件が発生。少し混み合っていたため、バスの運行に気をとられた瞬間に窃取されたとのこと。またグランドインドネシア内でもスリの被害が起きている。外国人に限らず、インドネシア人が被害に遭うケースも多く報告されている。雑踏では周囲に気をつけてほしい。

3 報告及び連絡

(1) 8月7日に大使館から注意喚起のメールを発出したが、本日(8日)モナス周辺で労働団体が2,000人規模のデモを行っている。近づかないように注意してほしい。

(2) また最近、振り込め詐欺事件が発生している。手口は、法人企業に大臣秘書名で電話を入れ、大臣が個人的に金を貸して欲しいというもの。インドネシア語で話が進むため、英語で話すように促すと、電話が切れる。振り込め詐欺は、今に始まった話ではないが、引き続き注意していただきたい。

(3) 8月1日、空港のVOAに関する注意喚起のメールを発出したところ、日系企業から個別具体的な内容の問い合わせが相次いだ。ある企業では9名が出張してきて全員空港でVOAを購入したが、本来はVOAシールに加えてVOAスタンプ押されるどころ、全員VOAシールが貼られておらず、Visa Exemptionのスタンプを押されただけのものや、VOAスタンプの上に「訪問目的査免」「観光訪問査免」と手書きで記載し改ざんされたものもあった。領収書についても、渡されなかったり、日付の異なる領収書や手書きで日付が修正された領収書を渡されたりしたケースがあった。

大使館として入管当局に申し入れをすべくアポイントメントを追求中。明らかな不正案件のため、提供いただいた情報を証拠として持って行き、当局に説明を求める予定である。根本的な問題解決に繋がりたいと考えている。

(4) 9月15日、日本ビザ申請センター(JVAC)がロッテ・ショッピング・アベニュー4階にオープンする。本年3月には約1,800件のビザ申請があり、申請に2時間、受領に2時間かかるほどの混雑状況を踏まえ、申請者に対するサービス向上・利便性向上のため、同センターを開設することにした。同センターの開設により、ビザ窓口の混雑の緩和や待ち時間の大幅な短縮が可能となる見込み。同センターでは、申請・交付時間が拡大される他、申請受付窓口も15以上に増設、オンラインでの申請予約も可能となる。その他、顔写真の撮影や手数料のクレジットカード払いも可能となる。

ただし、これまでビザ申請に4営業日要していたところ、同センターでは5営業日要することになる。また代行手数料はビザ申請について約1,300円、IC旅券所持者に対する査証免除事前登録については約1,000円、プラスでかかることになる。

3 各社からの報告（団体）からの報告

- VOA の件で JJC 労働問題委員会から、新たな事案の報告があった。VOA の購入後、入国審査官に領収証を渡したところ、スタンプで良いかまたはシールは貼るのかと質問された。シールを貼るよう促したところシールを貼ってくれた。入国管理局などが組織的に操作をしている感じがしている。
- 7月24日、出張者3名全員が領収証をもらったが、そのうち1名はVOAシールが張られていなかった。
- VOA については忘れられないように定期的に案内を送付して欲しい。
- VOA の件では、弊社でも1名被害にあった。領収証をもらっていたので、出国時の空港でのトラブルの際には領収書で対応するように指示した。
- VOA については弊社出張者1名において、VOA 購入時に領収書はもらったがシールが貼られていなかった。

- 8月1日に入国したにも関わらず、スカルノハッタ空港で7月1日付けの入国スタンプが押印された。KITAS 取得のため、イミグレに問い合わせると30日を経過して違法だと言われ、翌日スカルノハッタ空港にボーディングパスを持って行き、修正印を受けることになった。特段の金銭の要求も無く対応された。
- 8月1日のイミグレにおいて出国の際のスタンプが、「7月1日」のスタンプが押印された。おそらくダイヤル式のスタンプのため、変更し忘れるという人的ミスがあった。月替わりのスタンプには注意が必要である。

次回の邦人安全対策連絡協議会は9月12日（火）午前11時から